

2/7 三. 鸡

（註）当政が決定した2022年9月から退陣までの約1年に亘り支出された内閣官房機密費（報費）13億円超のつぶや、官房長官が自由勝手に使える「政策推進費」は12億4000万円などである。）が本紙調査（3日付）で分からましした。政策推進費は、領収書が不

主張

閻の官房機密費

てします。政策推進費の他に「活動関係費」「調査情報対策費」があります。そしてこれを占める政策推進費は、官房長官の管理する金庫に入金された時点で「支出元」とされます。使い道は官房長官の裁量次第です。

加藤官房長官は幕末相退陣原前

されせて加藤氏は1億4000万円の政策推進費を手にしました。官房長官の金庫の出入金記録によれば12億200万円が使われていました。10000万円前後の支出です。384日間官房長官をついた加藤氏は一日平均31-32万円を使った計算になります。

都度の評議で機動的に使用する「機動費」と説明します。しかし、年次計画未だ使われるやう方を「機動費」と説明する」が、あつたに無理があるのです。税金や政治資金の問題で、これまた「私的用途の疑い」を指摘していく事です。

あやべ
“つかみ金=許されない”
國體最高経験者が國體機密費を
党和党務費に使った実績を生々し
く説明した例は今まいおりませ
ん。實行や組織化は速攻を要ひた
にすべれど。

要の“つかみ金”です。菅政権は代の支出先は当時の加藤勝信官房長官しか知りません。政策推進費をはじめとする官房機密費は過去に国会対策やマスメディア対策など使われたことが判明し、問題になってしまった。便益を認めた税金の使い方に批判は絶えません。メスを入れる」が必要です。

1日平均313万円使う

使途隠した税の支出にメスを

の21年10月1日の会員で、國政府
トとの月末までに支出した宣傳費
額は「總3000万田」、わざわざ
策推進費は「總1000万田」だと
明らかにしました。しかし本紙は
情報公開請求で入手した資料によ
り、「貢金額は1000万田」が公
策推進費に支出されていました。

21年3月には、一億三千六百四十万円の政策推進費が使われています。支田の政策推進費が使われていません。年度末に多額の政策推進費が支出される手法は、安倍政権時代と同じです。いつも年度末に残金がほとんどないのです。

選に立候補しました。田辺は田嶋
泰明前日の内閣一田辺のONO万
円の政策推進費を受け取り、首相
就任の内閣16日までに4000万
円を支田しました。田嶋は「總裁
選のために使ったといわれても仕
方ない」と過激され、豈氏は御連
しましたが、裏付けの証拠は示し

明文で禁じ、定期間後に使命を公表するよう政府に申し入れています。「税金の私物化」を許す仕組みを止めることでないことはできません。公團のルール通りではねえ、國庫の不正を知り、貿易詐欺のあり方を根本から直す直が、これが不可欠です。

動関係、「調査官報好業報」が
て、政策推進の起りに「通

合わせて加藤氏は12億4000万円の政策推進費を手にしました。

都度の手元で機動的運用や、各種の機密情報を漏洩しきる。しかし、事件発生時に

三
九

かみ金^ノ詰^タれなし